



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 山 本 英 樹
幹 事 三 宅 善 太 郎 会 報 委 員 長 奥 田 秀 行



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2337

2017-9-1

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

9月1日(第1例会)

●新会員入会式

金山信利氏(僧侶)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
光信(10) 岡倉(10) 岡本(20)
南賀(20) 山本(英)(20) 佐伯(20)
中谷(徹)(30) 大原(60)
村上(泰)(30) 村上(武)(10)
浅井(10) 各会員

- お祝・誕生日
中尾 宇津井 各会員
- ・結婚記念日
中辻会員
- ・入会記念日
中谷(佳) 南賀 岡部(倫) 山口
山本(英) 各会員
- ・会社創立記念日
濱田 岩永 梅崎 各会員

- 卓話 「公共イメージ向上セミナーに参加して」
岩永建保雑誌・広報委員長

- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ

9月8日(第2例会)

- 卓話 「私の日本のライフスタイル」
(My Japanese lifestyle)
米山奨学生 テチアナ・セゾネンコ様
- 食膳 <日本料理 重陽の節句定食>

次々週のお知らせ

9月15日(第3例会)

- 大阪東南ロータリークラブとの合同例会
- 卓話 「能楽のおもしろさ」
観世流能楽師 シテ方準職分
水田雄晤氏

先週の記事

8月25日(第4例会)

- 出席報告
出席会員 39名(内免除会員9名)
会員総数 47名(同上16名)
ゲスト 0名

ビジター 1名

計 40名

ホームクラブ出席率 97.50%

8月4日(第1例会) 補正出席率 100% (MU2名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

鍵田秀明(大阪御堂筋本町RC)

◆会長の時間◆

クラブ戦略計画委員会について

従来、ロータリークラブの活動は、基本的に単年度目標に基づき行われてきました。しかし、会員増強や奉仕活動を考えた場合、単年度で事業計画を立てるより、数年単位で事業を考えたほうが有意義なこともあることからクラブ戦略委員会が組成されています。

当クラブの戦略計画委員会では、会員増強、また、委員会構成等も踏まえ細則改正等も検討してまいりますのでよろしくお願いいたします。

◆幹事報告◆

- 地区から、会員増強の為のポスター無料配布の案内が来ています。
見本を回覧しますので、ポスターをご希望の方は事務局へお伝えください。
- 大阪イブニングRC様から、昨年のIMロータリー・デーに因んだ防災グッズを頂きました。事務局にて保管します。



◆委員会報告◆

R財団・米山奨学委員長 尾崎敬則
永井会員より、R財団・R米山記念奨学会にご寄付を頂戴しました。有難うございます。引き続き、皆様よろしくお願ひいたします。

9月は基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間です!!

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 合同例会の卓話について ◆

プログラム委員長 三木敏裕

9月15日(金)の通常の例会開催時間に、大阪城南ロータリークラブ・大阪東南ロータリークラブの合同例会が開催されます。例会の卓話者として、観世流シテ方準職分 水田 雄晤様をお願いしております。先生との出会いは、2年前の近鉄百貨店の中にあります、近鉄文化サロンで「能楽」の謡を教授されているという事をパンフレットで知り、能楽教室に応募いたしました。私は50歳の時から謡を始めたのですが、3年前に大病を患い、後遺症のために夜の謡の会に出られなくなりました。それで昼間の能楽教室をうけることとなりました。プロの先生の指導で、分からない点について細かく親切に指導していただき、随分と疑問点も解消したように思います。また、教室の生徒さんとも親しくなり、楽しみが一つ増えました。ここで少し「能楽」の歴史についてご説明いたします。6世紀中頃、中国より「雅楽」や雑多な大衆芸能である「散楽」が日本に伝来、現在でも宮内庁で継がれている「雅楽」に対し、日本古来の芸能と融合し民衆に広まりました。「散楽」はやがて平安中期に言葉がなまり、「猿楽」と名を変えます。鎌倉時代には、農耕儀礼一田植え・収穫祭の唄と踊りを元とした「田楽」が流行し、僧侶達の法会後の宴で広まりました「延年」という寺院芸能も広まりました。それらを踏まえて多種多様な芸能、歌・踊り・舞い・芸や技を集めた「能楽」の基のようなものが南北朝～室町初期に出来上がり、その後「観阿弥」「世阿弥」親子により集大成されたものが室町ミュージカル＝「能楽」です。そして時の権力者「足利義満」に認知され庇護されることで更に洗練された高度な舞台芸能へと発展して行きます。江戸時代は徳川幕府の式楽(公式な場で演じられる公認音楽)となり、武士階級は、謡・仕舞・能を演ずることが武家のたしなみとなりました。ところが、明治維新で幕府が滅び庇護を頂けなくなり、「能楽」は下降線を辿る事になりました。その当時能楽を支えて頂いたのは、旧公家・旧藩主・高級官僚・豪商の方々です。この方々のご支援を頂きながら少しずつではありますが、「能楽」は回復して参りましたが、奇しくも第二次大戦の戦火とそれに続く混乱により、大切な資料、装束、能面等を焼失、紛失してしまいました。混乱の時代を潜り抜け、21世紀になり「能楽」界はようやく日の目を見ることとなります。「能楽」は2001年5月、ユネスコ本部より「人類の口伝及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、2008年11月無形文化遺産保護条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に初登録されました。

「後世に伝えるべき貴重な財産」と位置づけされた「能楽」は、650年前より今日まで脈々と途切れる事なく「親より子へ・子から孫へ・師匠から弟子へ」と口伝・

口承で演じられ続けられている稀有な演劇です。

世界には650年以前に演じられた演劇は、星の数ほど存在しますが、それが現在まで一度も絶えず演じ続けられている演劇は「能楽」以外にありません。

次世代まで語り継ぐ貴重な財産として、「世界」はユネスコ無形文化遺産で認定第一号を受けた日本の「能楽」をととも注目しております。

当日は、3人の会員に能衣装を着けて頂き、能面を付けて頂きます。そしてすり足での歩行を体験していただきます。

◆ 設立50周年に向けて ◆

準備委員会委員長 南賀勝之

各テーブルに分かれて、設立50周年に向けてのバズセッションが行われました。



ここにこ箱

8月25日(第4例会)

- 本日、初めてメイクアップに寄せて頂きました大阪御堂筋本町RCの会長エレクトを致しております鍵田と申します。何卒よろしく願い申し上げます。
大阪御堂筋本町RC 鍵田秀明様
- 暑さもあとわずかとなりました(きっと)。9月に向けてお互いに頑張りましょう。
尾崎会員
- 早口ことば第二弾 「東京特許許可局許可局長」 副SAAガンバレ!! 南賀会員
- その他、お祝い 2件

8月にここにこ合計 104,000円
ハット合計 36,000円

(編集担当 宮田・山本(智))

会員増強にご協力を!!